

第3回 下松市地域公共交通活性化協議会

議事要旨

○日時：平成31年3月1日（金）10:00～

○場所：ほしらんどくだまつ サルビアホール B

○出席委員：18名（欠席3名）

玉井委員、寶迫委員、河内委員、弘委員、清水委員、田中委員、三吉氏（六反委員代理）、吉村委員、古田尊委員、秋本委員、手嶋委員、大下委員、西村委員、行徳委員、古田健委員、今井氏（末富委員代理）、安野委員、金織委員

○事務局：企画財政課、株式会社バイタルリード

1 開会

2 議事

- (1) 米川地区での地域の移動ニーズに対応した公共交通の導入に係る運行を交通事業者に対して引受けの可否を照会した結果について

発言者	発言要旨
会長	運行については引受けしていただける交通事業者があったということである。市の予算確定後に事業者を示したい。何かご意見等あればお願いしたい。
各委員	(特になし)
会長	次に運賃について事務局から説明をしてほしい。
事務局	(運賃案について説明)
会長	運賃体系の案が示された。ご質問やご意見はないか。
委員	予約有りが300円、予約無しが200円という説明だが、同じ地区内で同じところへ行っても金額が違うということか。
事務局	米川地区内の移動については予約有り無し関係なく100円としている。花岡に出る移動は、予約でより便利に乗降される方については(追加で)100円をご負担いただきたいと考え、予約の有無で差をつけている。
委員	予約有りは家の近くまで行くということだとなると、近くの人が予約を使って300円、遠い人のほうが200円ということもあるということか。
事務局	花岡に出る際、①～⑥のバス停からの乗降については200円、ドアto ドアは、それにプラス100円というイメージである。
会長	地区内の各集落はデマンドで運行し、小学校を起点に定時定路線が発車するということである。地区内の人が地区内で乗降する場合は100円、デマンドを使い花岡まで行くと300円。①～⑥のバス停からデマンドを使わずに花岡に行くと200円ということか。
事務局	そうである。
委員	運賃は今日決めるのか。

事務局	まだ時刻表の設定など決議すべきこともあるので、運賃についても次回に持ち越していいと考えている。
委員	定時定路線部分は、地区内でも降車できるのか。
事務局	定時定路線は通常のバスと同じで地区内でも乗降できる。デマンドのみ事前予約で運行する予定である。
委員	運行曜日はどうなるのか。
事務局	定時定路線は日・祝日を除く毎日運行である。
会長	そのほかにないか。10月から運行開始予定のためまだ時間はある。本日決定ではなく継続して審議することも考えられる。それも踏まえてご意見をいただきたい。
委員	デマンド有り無しという差はわかった。近い人のほうが高く、遠い人が安いということもあるのが少し引かかる。協議運賃は関係者が同意されればいいが、差別的であるとか不合理である場合は、申請を出されても要検討となることがある。確認する時間をいただきたい。
会長	継続的に確認していきたいので、運賃に関しては次の会議での採決でよい。
各委員	(異議なし)
事務局	各集落を回るデマンド部分は、新規事業として今回の目玉である。引き続きご指導をお願いしたい。
会長	各自持ち帰り確認してほしい。よかったら挙手をお願いしたい。
各委員	(挙手多数)
会長	では、運賃については保留し、再考していただくこととする。

(2) 平成30年度の実施事業について

発言者	発言要旨
会長	平成30年度の実施内容について7点の説明があった。運賃負担軽減実験では、課題や問題点が投げかけられたと思う。7点について、質問や意見はないか。
委員	運賃軽減実験について、普段バスを使わない人からの転換があまり見られなかったということであった。マイカーが便利だからマイカーを使う人が多いのだと思う。バスやタクシーの運賃が高いという気持ちも一市民として分かる。一方、運賃には、安全面や運行にかかるコストが反映されている。運行にはコストがかかるということを踏まえて、利用転換のアイディアも取り込み、このような取組みを続けていってほしい。 待合環境整備に関連して、広島市ではバスベイを取り払う実験をしている。岡山市では正着しやすいバス停の形状が考えられている。このような取組みは、バスの使いやすさにもつながる。安全面や設備のこともあるので、警察や道路管理者とも調整して進めてほしい。
事務局	貴重なご意見をいただきありがたい。今後の展開も協議事項となるので皆様のお知恵をいただきたい。バスの利用しやすさにつながるような施策になるよう、広島市や岡山市の事例も含め参考にしたい。
委員	公共交通マップについて、バス事業者が独自に作ろうと思っても時間や労力、お金がかけられず、このような取組みは大変ありがたい。バ

	ス停の路線図については、貼っていたものがはがれたものもあると思うが、事業者としてもしっかりやっていきたい。 笠戸について、現在住む人が少なくなっている中で、もっと乗ってもらおうと思っても限られた人に働きかける取組みになるので効果を出すのは難しいのではないかと思う。ただ、実験の際は、ご利用の方から大変感謝されたと運転手から聞いている。 バスロケについて、当社は3月末までに機器を取り付け、本格稼働は4月以降になると思う。今後は広報活動もしたい。
委員	待合環境整備の資料について、中国ジェイアールバスの路線は、ゆめタウン下松東では停車せず、下松タウンセンター前で停車する。ゆめタウン下松東の利用者数には、下松タウンセンター前の利用者数が含まれているのではないか。そうすると、本当にこの停留所でこれだけのご利用があるのか疑問に思うところがある。
バイタルリード	中国ジェイアールバスでは、下松タウンセンター前と下松駅前が上位に挙がっていた。この資料では防長交通の利用者と足して上位のバス停を出している。防長交通では区界停留所単位で利用実態調査をされているため、防長交通にヒアリングをして区界停留所前後で特に利用が多いバス停はないかということを補足で確認している。このマップを見ても、利用の多いバス停は概ね網羅できていると考えている。
委員	下松タウンセンター前も結構利用があるのではないかと思うが、下松タウンセンター前が片方だけしか停まらない停留所であるからだろうか。この数字は区界停留所単位での調査であったからということではないか。
バイタルリード	今すぐにデータを確認できる状況ではないが、恐らくそういうことであると思う。
会長	そのほかにはないか。ないようなので、次の議事にうつる。

(3) 平成31年度の実施事業について

発言者	発言要旨
会長	質問はないか。
各委員	(特になし)
会長	事務局からその他の議事はないか。
事務局	ない。
会長	では、全体を通してご意見等はないか
委員	資料が分かりやすかった。このような感じでこれからも進んでいくといいと思う。
会長	ほかにはないか。
各委員	(特になし)
会長	議事は以上で終了とする。

3. その他

発言者	発言要旨
事務局	次回は、5月中旬ごろの開催を予定している。
会長	本日は以上で終了する。

11：26 終了

— 委員名簿 —

	所属	役職	氏名
1	下松市	企画財政部長	玉井 哲郎
2	防長交通株式会社	営業部長	竇迫 啓之
3	中国ジェイアールバス株式会社	運輸部 生活交通活性化推進室長	河内 政好
4	西日本旅客鉄道株式会社	徳山地域鉄道部 徳山駅長	杉村 誠
5	メトロ交通株式会社	顧問	弘 嘉男
6	一般社団法人 山口県タクシー協会	理事	清水 延隆
7	下松市自治会連合会	会長	田中 豊
8	下松市老人クラブ連合会	会長	六反 弘道
9	社会福祉法人 下松市社会福祉協議会	常務理事	網本 哲良
10	下松市小・中学校 PTA 連合会 母親委員会	代表	吉村 智美
11	下松市連合婦人会	会長	古田 尊子
12	中国運輸局山口運輸支局	首席運輸企画専門官	秋本 由美
13	私鉄中国地方労働組合 防長交通支部	書記長	手嶋 謙介
14	中国地方整備局 山口河川国道事務所	交通対策課長	大下 孝志
15	山口県周南土木建築事務所	企画調査室主幹	西村 一隆
16	下松市	建設部長	古本 清行
17	下松警察署	交通課長	行徳 祐二
18	徳山工業高等専門学校	土木建築工学科教授	古田 健一
19	山口県観光スポーツ文化部	交通政策課長	末富 芳伸
20	下松商工会議所	専務理事	安野 政行
21	下松商業開発株式会社	代表取締役	金織 平浩